



Rosewood Beijing

ローズウッド北京「Rosewood Beijing」は、香港に本社を置く高級ホテルグループ「Rosewood Hotels & Resorts」が世界戦略の一環として、中国で最初のローズウッドを北京に開業させた。元々は「京広新世界飯店」として建てられたホテルを2010年から大規模リノベーションを断行し、2014年に「ローズウッド」を冠した最高級ホテルとして姿を現した



エントランスホールに飾られた大型のクリスマスツリー。背後に描かれた山水画はシャングリラのロビーホールでよく目にするものとは異なり、こちらのタッチは現代アート寄りでもダンな空間に溶け込んでいる



中国伝統の獅子を両側に据えたメインエントランスの重厚なゲート



スタイリッシュなレセプションデスク



メインダイニング「The House of Dynasties」のエントランスに立つエグゼクティブシェフ氏



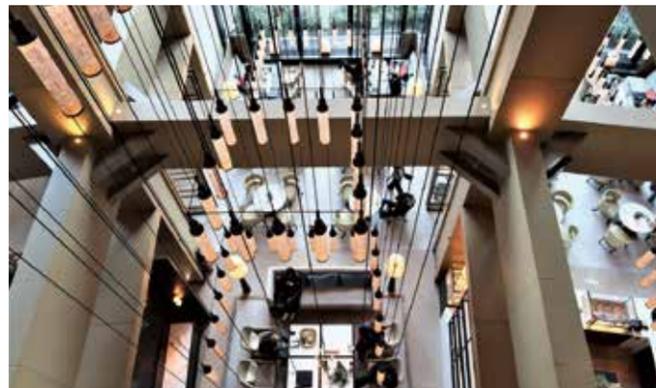
「The House of Dynasties」は中国歴代王朝の装飾を施した広東料理の名店だ



筆者 **小原 康裕**
 国際ホテルジャーナリスト

慶応義塾大学法学部法律学科卒。
 1974年 Munich Re 入社。
 2001年投資顧問会社原健設立、
 代表取締役 CEO。
 JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント
 協会専務理事。
 SKAL International Tokyo、
 Professionnels du Tourisme 会員。
 JARC、日本宿泊施設関連連合会
 アドバイザリーボードメンバー。

www.jhrca.com/worldhotel/?cat42
www.hoteresonline.com
<https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16>



中2階メザニンから俯瞰した「Bistro B Lounge & Bar」

Rosewood Beijing

ローズウッド北京「Rosewood Beijing」は、香港に本社を置く高級ホテルグループ「Rosewood Hotels & Resorts」が世界戦略の一環として、中国で最初のローズウッドを北京に開業させた。ローズウッドはパリの名門ホテル「Crillon」を傘下に収め、原点である米国ダラスから創業したキャロライン・ローズ・ハントの経営手法とは全く異なるものがある。元々は「京広新世界飯店」として建てられたホテルを2010年から徹底的な大規模リノベーションを断行し、2014年に「ローズウッド」を冠した最高級ホテルとして姿を現した。ロー

ズウッドを傘下に置く香港大財閥の一つ、新世界発展「New World Development」の意気込みが伝わってくる。

北京には既にアマンやブルガリホテルなど高級ホテルが目白押しだが、ローズウッド北京は他のホテルとは異なり、旧態依然とした既存のラグジュアリー感覚はない。インテリアはオーストラリアのデザイン会社「Bar Studio」によって手掛けられ、ローズウッドにある機能的でエレガントなエッセンスは見所の一つである。昨今の世界戦略は目を見張るものがあり、N.Y.のカーライル、パリのクリヨン、ロンドンのローズウッドを始め、ヨーロッパ、中近東、アジア地区に今までにない極上のプロパティを開業、もしくは準備中である。



エグゼクティブラウンジの「Manor Club」のレセプションデスク。いわゆる Ritz-Carlton などでお馴染みのクラブラウンジだが、テラスを含めよりゴージャスな雰囲気が漂う



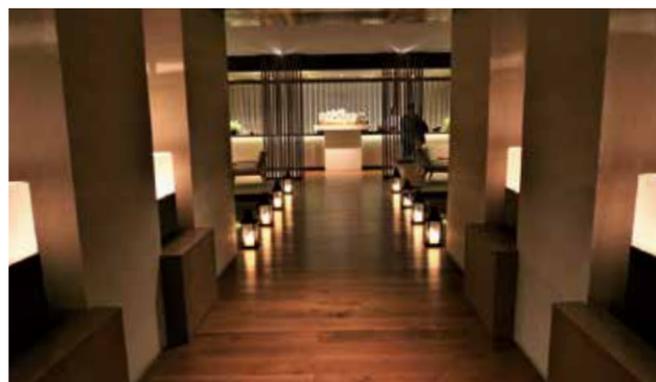
アフタヌーンティーやディナーのカクテルアワーも専任コックがホットミールを提供する



オールデイダイニングの「Bistrot B」はオープンキッチンのスタイリッシュなレストランで、とくに朝食は中華・インターナショナル料理の豊富なメニューを揃えている



ロビーラウンジ「Bistrot B Lounge & Bar」は落ち着いた空気感だ



スパ施設「Sense, A Rosewood Spa」のエントランスに向かうコリドー。11室のゴージャスなトリートメントルームを備え、フォーブスの4スターを獲得している



「Sense, A Rosewood Spa」のリラクゼーションルーム。中国産の「Ba Yan Ka La」という有機成分のケア製品が好評である

ローズウッド北京は52のスイートを含め全283室を擁して52階建ての旧京広新世界飯店の下層部に入り、上層階は「京広中心・Jing Guang Centre」の名でオフィスとアパートメントが占めている。今回はスタジオタイプの「Ground Studio」をご紹介したい。約64㎡の広さを持ち、モダンな中にもシノワズリの雰囲気が漂うインテリアの部屋で、クラブラウンジ「The Manor Club」のアクセスが付く。レストランは非常に充実しており、合計6カ所のレストランとラウンジ・バーを用意している。メインダイニング「The House of Dynasties」は中国歴代王朝の装飾を施した広東料理の名店だ。オールデイダイニングの「Bistrot B」はオープンキッチンのスタイリッシュなレストランで、

とくに朝食は中華・インターナショナル料理の豊富なメニューを揃えている。スパ施設「Sense, A Rosewood Spa」は11室のゴージャスなトリートメントルームを備え、フォーブスの4スターを獲得している。ローズウッド北京のクオリティの高さは、特にエグゼクティブラウンジの「Manor Club」に反映されている。いわゆる Ritz-Carlton などでお馴染みのクラブラウンジだが、テラスを含めよりゴージャスな雰囲気が漂い、アフタヌーンティーやディナーのカクテルアワーも専任コックがホットミールを提供する。この成功が後の2019年に開業したローズウッド香港のManor Clubに活かされている（本誌、Vol 215 参照）。



スタジオタイプの「Ground Studio」のベッドルーム。約64㎡の広さを持ち、モダンな中にもシノワズリの雰囲気が漂うインテリアの部屋で、オーストラリアのデザイン会社「Bar Studio」によって手掛けられた。ローズウッドにある機能的でエレガントなエッセンスは見所の一つでもある



「Ground Studio」のシッティングエリア。クラブラウンジ「The Manor Club」のアクセスが付く



広いウィンドの開口部を持ち、巨大な CCTV 中国中央電視台本部ビルも望める



スタイリッシュなバスルーム。バスタブも大きくゆったりできる



客室階の広いエレベーターホールは気品ある佇まいだ